

《申込方法》

- ① **11月26日～12月7日**まで学生課にて申込書を配付します。
 (1)利用日程 (2)人数 (3)会議室利用の有無等を第8希望まで記入していただきます。
 抽選を行うための大切な申込書となりますので、できるだけ多くの欄に記入してください。
- ② **12月7日18:00**までに学生課窓口時間に受付BOXへ申込書を投函してください。
 8日9:20から、7102号室にて、公開抽選を行います。
 組んでいく順番決定のための抽選となりますので、宿泊先等の詳細は21日の発表までお待ちください。
◆【8日は参加必須ではありません】
- ③ **12月21日昼休み**抽選結果を7205号室で発表し、当選団体には手続書類の配付と説明を行います。
 ※ホテル備品・施設等の詳細なお問い合わせ(要望事項等)は、関係者に直接質問できるこの場でお寄せください。
- ④ 当選した団体の手続書類提出は、**1月17・18日の昼休み**に学生課にて受付ます。
 【書類提出は、上記期間中の昼休み時間帯ですので、ご注意ください。】

春季契約宿舎 宿泊受付予定施設は、こちらの7つです♪

- ①石和びゅーほてる(石和)
- ②ホテル花いさわ(石和)
- ③箱根高原ホテル(箱根)
- ④富士ビューホテル(河口湖)
- ⑤ルネッサ赤沢(伊豆高原)※コテージ型式
- ⑥ホテルサンシャイン鬼怒川(日光)
- ⑦湯沢ニューオータニホテル(越後湯沢)

★ 利用料金 ★
 3,500円 (1泊2食付 消費税等込)
 いずれの日も昼食は別料金です。

★ 開設期間 ★
 2～3月の春休み期間
 詳細は、学生課掲示板等でご確認ください。

セミナーハウス(大学寮)ご利用の場合は、通常どおり学生課窓口時間にていつでも受付しています！ 利用料金は、契約宿舎より更に割安の(1泊3食付2,000～2,500円)です！

中央大学学生課 042-674-3474

学生部の窓口時間のお知らせ

多摩キャンパス

期 間	窓 口 時 間	
学 生	課 ・ 厚	生 課
～12月25日(土)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00
1月6日(木)～1月17日(月)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00 ※1/14(金)は、9:00～12:00、13:00～17:00
1月18日(火)～2月3日(木)	月～金 土	9:00～17:00 9:00～12:00
2月4日(金)～3月31日(木)	月～金 土	9:00～12:00 13:00～17:00 9:00～12:00
学 生 相 談 室		
～12月25日(土)	月～金 土	10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 10:00～12:00
1月6日(木)～2月3日(木)	月～金 土	10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 10:00～12:00
2月4日(金)～3月31日(木)	月～金 土	10:00～17:00 10:00～12:00

後楽園キャンパス

理工学部学生生活課		
～12月25日(土)	月～金 土	10:00～18:00 10:00～12:00
1月8日(土)～1月13日(木), 1月15日(土)～1月18日(火)	月～金 土	10:00～18:00 10:00～12:00
1月14日(金), 1月19日(水)～3月31日(木)	月～金 土	10:00～17:00 10:00～12:00
理工学部学生相談室		
～12月24日(金)	月～金 土	10:00～17:00 (水曜日17:30迄) 10:00～12:00
1月8日(土)～3月31日(木)	月～金 土	10:00～17:00 (水曜日17:30迄) 10:00～12:00

※窓口時間を変更する場合には、事前に各課窓口やホームページでお知らせします。

みなさんの声をお聞かせ下さい!

学生部は、大学と学部学生の皆さんとのパイプ役を果たしていますが、その一環として一人ひとりの意見、考えそして提案を広く聞き、充実した大学を創るために学部学生を対象とした「オピニオン・カード」を受け付けています。ぜひ、活用してください。

投書方法

①中央大学ホームページのオピニオンカードメールフォームによる投書
メニュー⇒「学生生活・就職」⇒「学生生活サポート」⇒「オピニオンカード」

②Eメールによる投書

下記のアドレスに意見・提案を送信してください。その際、次の事項を必ず記入してください。

1. 意見・提案
2. 氏名
3. 学籍番号
4. 回答希望の有無(回答を希望する場合は、連絡先を記入してください)



③専用用紙による投書

オピニオン・ボックスに添付してある専用用紙に意見・提案を記入し、投函してください。

<オピニオン・ボックス設置場所>

多摩キャンパス：学生課・各学部事務室・学友会事務室

後楽園キャンパス：理工学部事務室・理工学部学生生活課



Eメールでの受付

opinioncard@tamajs.chuo-u.ac.jp

災害救援ボランティア講座 —参加者の声—

中央大学学生部

学生部では、前期試験が終了した直後の2010年8月2日(月)、3日(火)、4日(水)の3日間「災害救援ボランティア講座」を実施し、25名の学生が参加しました。この講座は「災害時わが身と家族の命を守る」ため、実践的な防災の基礎知識と応急手当を学び、ひいてはボランティア活動の活性化に繋げることを目的とし、3日間、応急手当活動(東京消防庁による上級救命講習)、災害模擬体験と実技(消火訓練・地震体験・煙体験)、災害・防災について(講義・グループワーク等)の講座に熱心に取り組み、修了者には、災害救援ボランティア推進委員会より「セーフティリーダー認定証」が、東京消防庁より「上級救命技能認定証」が、それぞれ交付されました。講座を修了した参加者の声をご紹介します。

私の住む地域は立川で、近くに立川断層がありとても危険であることを知っています。もしその活断層による災害が起こったら、大変な被害が出ると思われます。そういった事態に私は今回学んだ技能などを活かし、地域に対するボランティアとして活躍できたらな、と思います。3日間で学んだことはとても役に立つと思います。3日間ありがとうございました。

(経済学部・女性)

今回の講座で初期消火の重要性と、自助・共助の必要性を学びました。このようなこ

とを学ぶことができたのは、確かに良いことではありますが、その知識を地域住民に伝え、促進させて初めて効果があることだと考えます。なので、今後、まずは自宅、次に隣へというように少しずつ知識・技能を広めていく活動をしたいと考えています。すばらしい講座を開いていただき、ありがとうございました。

(商学部・男性)

この講座を受ける前は、災害救援の知識もあまりなく、もし災害が起こったら自分の感情だけで行動してしまっていたらう。人を



消火活動訓練を体験

☺ 災害が発生した場合に自分が何をすべきか、今まで全く分からなかったが、今回の講習を通じて多少なりとも学べて良かった。大地震を経験したことがないので、どういう状況になるのか、正確には予想できませんが、今回の体験を活かせればと思います。火は小さなうちに消し、自分の身は自分で守り、消防の方の負担を少しでも減らすことによって被害が最小限に抑えられると思います。災害時、冷静でいることは大変難しいと思いますが、日頃から意識し続けること



ハイパーレスキュー隊の訓練場を見学

で、災害時の行動は変わると思います。一人一人の意識が大切だと思うので、今後も技術を身につけられるよう、講習等にも積極的に参加していきたいなと思いました。

(法学部・女性)

☺ 私は将来、報道機関で災害対策に取り組むことを希望しているので、今回の受講は非常に有意義なものになった。今までは災害が発生しても見守るだけだったが、これからは予防や実際のボランティア活動に取り組みたい。知識だけでなく、ボランティアとして災害対策に取り組む、勇気やきっかけをくれた講習だった。

(法学部・男性)

☺ 1日目の施設見学の際、レスキュー隊の方がおっしゃった一言が、僕の脳裏に今もやきついている。曰く“防犯は皆気を使うのに、防災はそうでもない。未だ防災は、行政のやるものだ、と思われているようだ。”強く共感するとともに、自分もまた、防災を人任せにしている人間の一人である、とも思った。今後においては、自らあるいはコミュニティにおいて、防災を自主的に行う人間でありたいと思う。と同

時に、何かあった時には行政に協力できるくらいの知識訓練を継続したい、と思った。

(法学部・男性)

☺ 倒れている人がいるとき、災害があったときなどに、積極的に行動する自信がついた。講習を受けたからには、そうしなければいけないと思う。消防署の方の話を聞いたり、見学ができたことも、良い経験になった。この講習により、知識はもちろん、更なる向上のための情報を入手しようと思うようになった。また大学外のものに参加しようと思う。

(経済学部・女性)

☺ ボランティアには全くといっても過言ではないほど今まで興味が湧かなかつたし、自分が被災者になるということも考えたことすらなかったが、今回実際に震度7の地震を体験させていただいたり、映像を見たりしている内に他人事ではないということ、そしてボランティアがどれだけの役割を果たせるかということを理解した。今後ボランティアをたくさんの人に知っていただいて、意識をあげていきたいと思う。まずは自分自身から関心を持っていきたい。

(総合政策学部・女性)

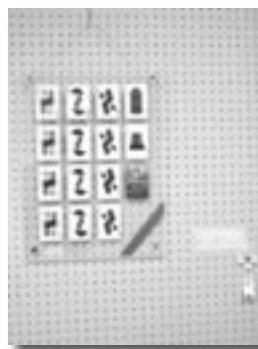
中央大学 アートフェスティバル(CAF) 受賞作品一覧

賞	氏名	学部	学年	作品名	分野
学長賞	向笠 友理	経済学部	3年	黙	書
特別賞	二瓶佐知子	文学部	4年	Cartes	写真
特別賞	尾形茉依奈	法学部	2年	美味	書
特別賞	平岡佐和子	法学部	2年	篆書千字文	書
特別賞	池田 博美	経済学部	2年	距離感	写真
特別賞	斎藤 稜	文学部	1年	プロトタイプ1号	彫刻

【学長賞】黙



【特別賞】Cartes



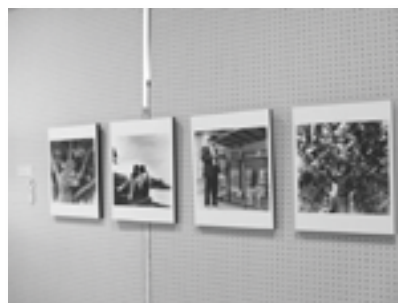
【特別賞】美味



【特別賞】篆書千字文



【特別賞】距離感



【特別賞】プロトタイプ1号



※上記受賞者には、後日表彰式にて、表彰状および賞金が贈られました。

※ご出展頂いた作品は(上記受賞作品を含む)、11/4~15まで図書館1Fに展示され、ご覧になった方々よりコメントも多数頂くなど、本年度も大変好評でした。